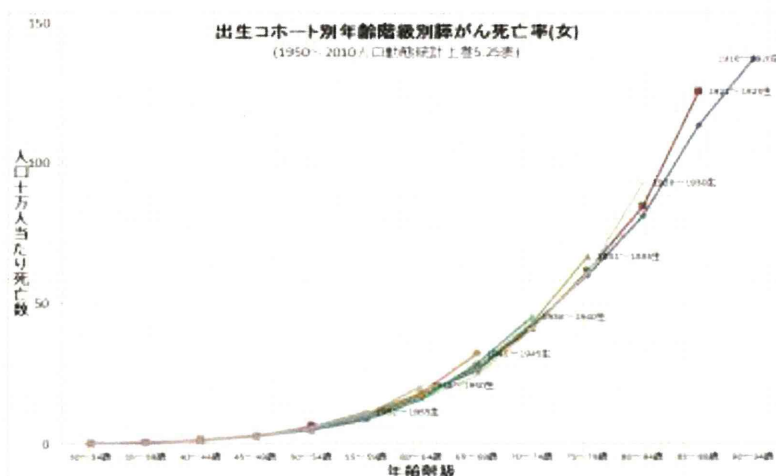
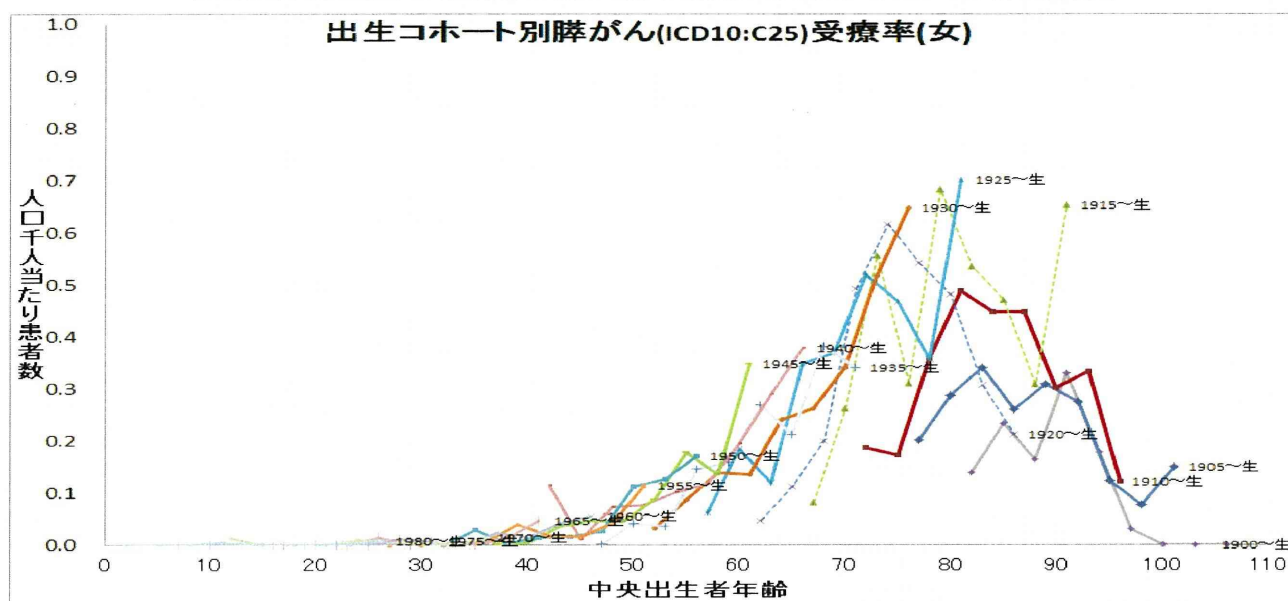
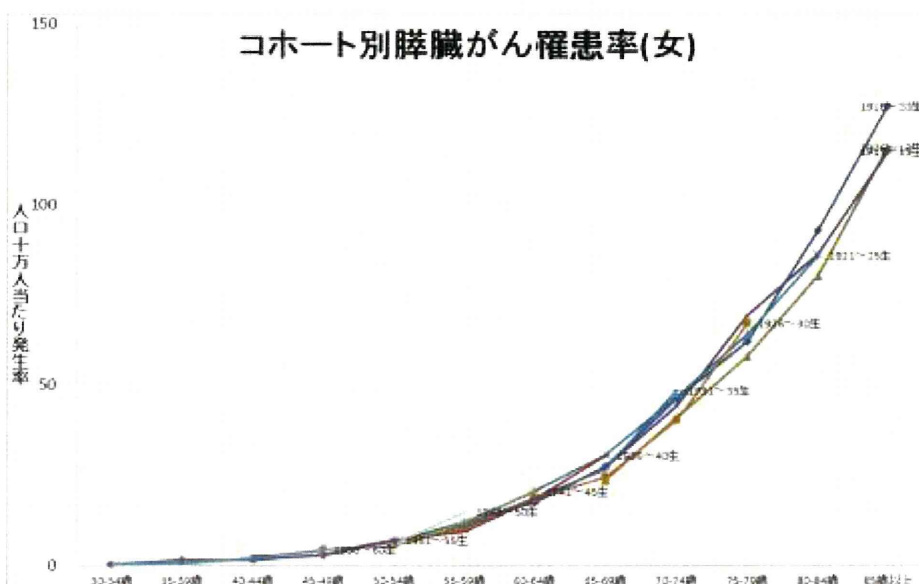
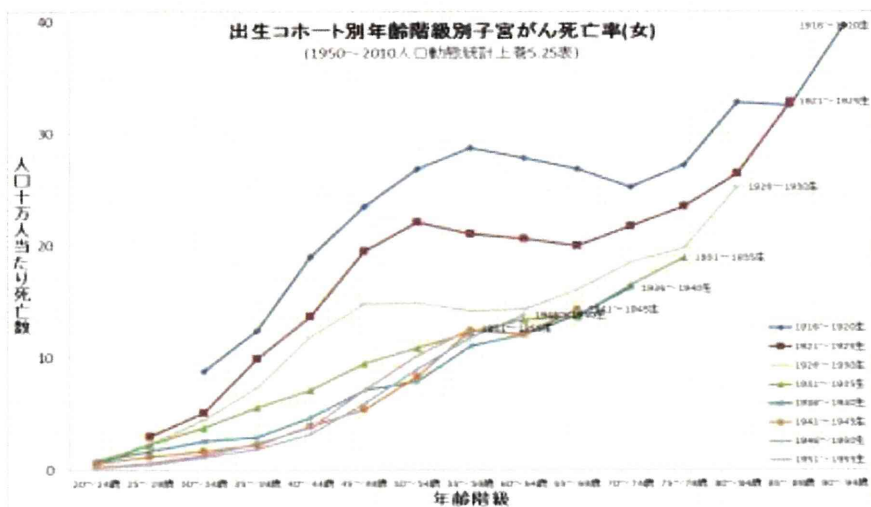
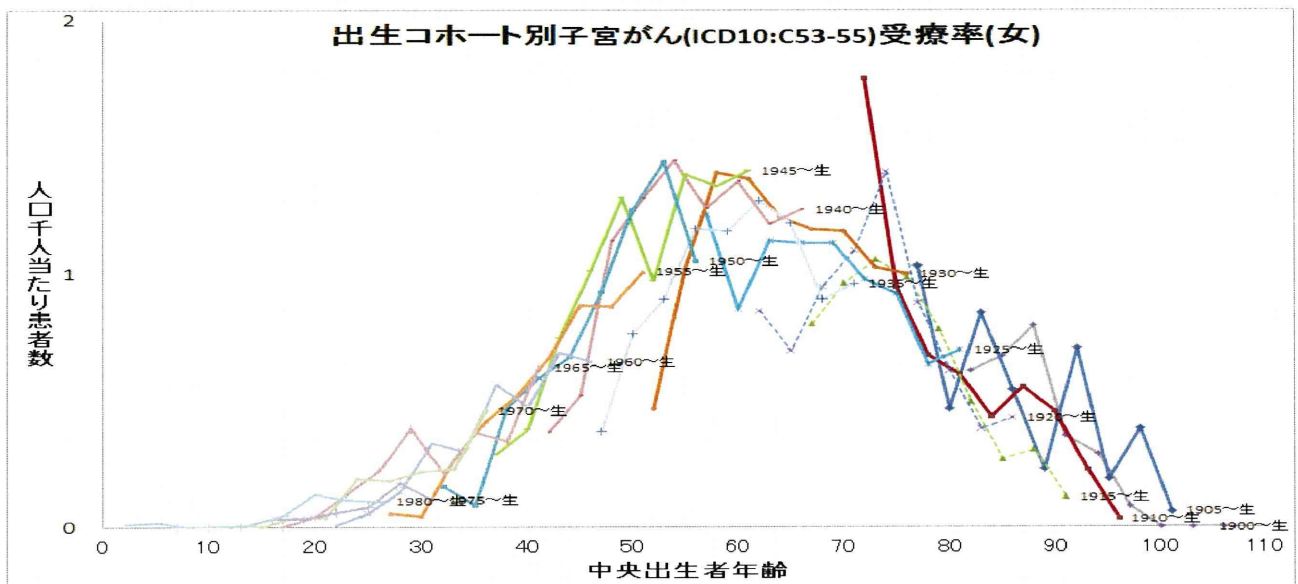
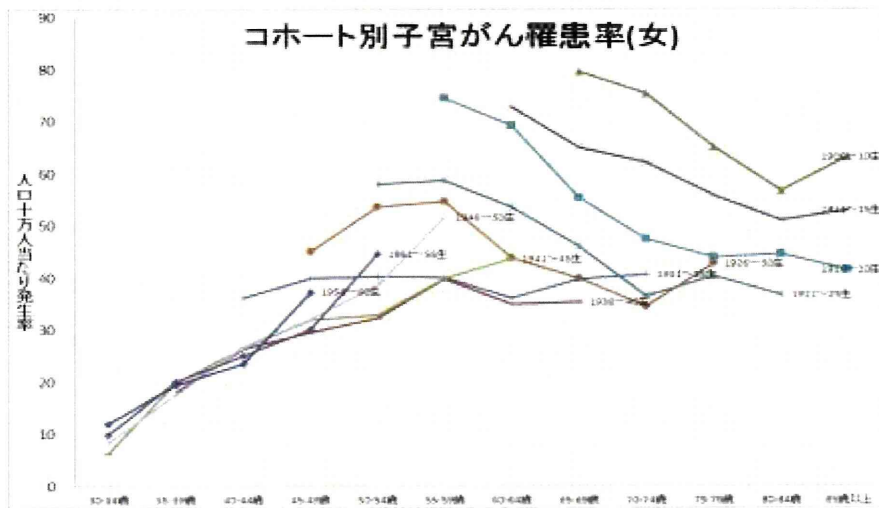


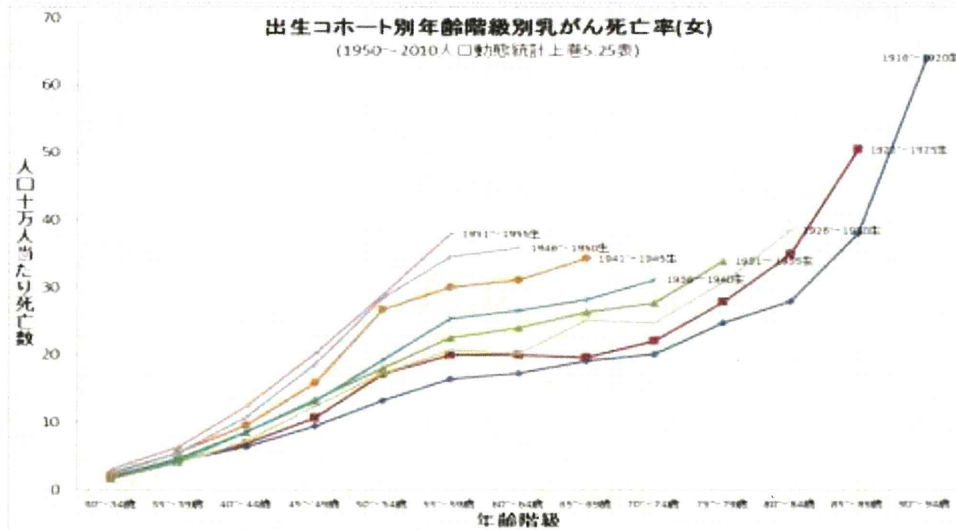
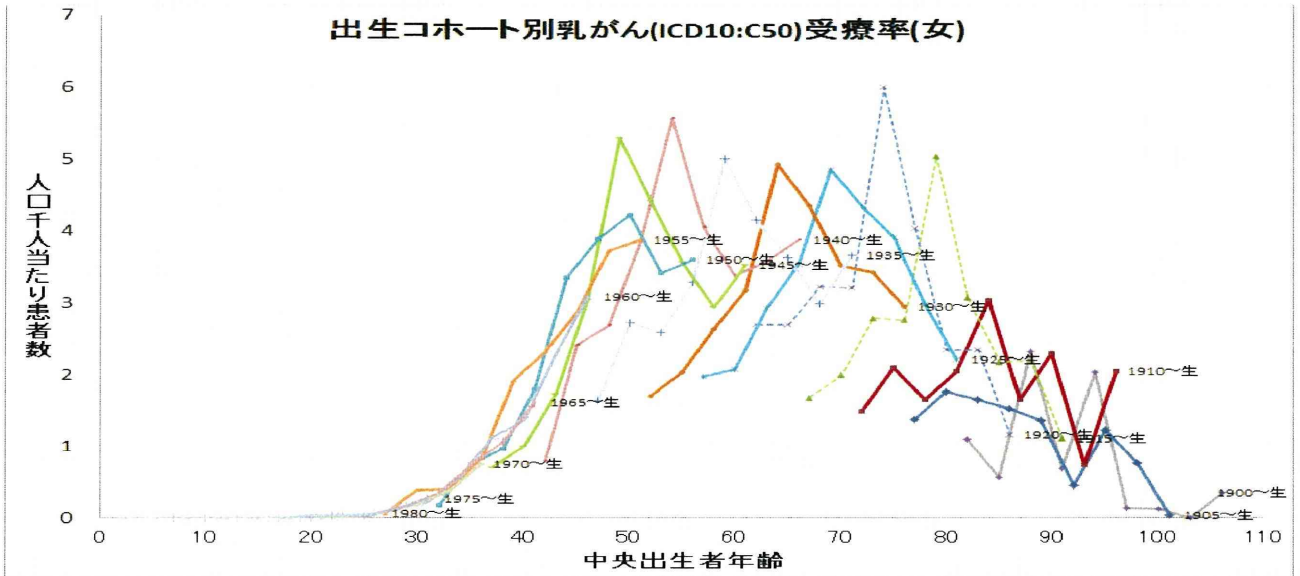
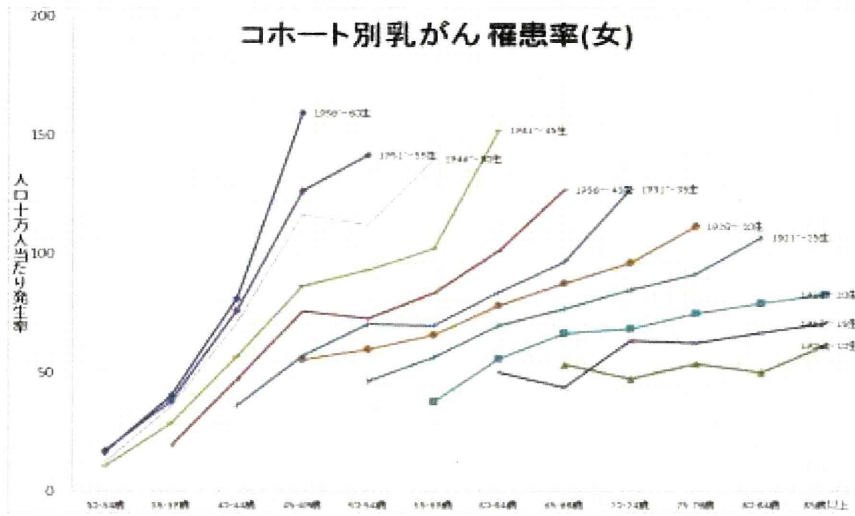
膵がん(女)



子宮がん



乳がん



様式第 1-1(申出文書)

平成 23 年 12 月 3 日

大臣官房統計情報部長 殿

国立保健医療科学院

患者調査に係る調査票情報の提供について（申出）

標記について、統計法（平成 19 年法律第 53 号）第 32 条の規定に基づき、別紙のとおり調査票情報の提供の申出を行います。

(別紙)

1 統計調査の名称

患者調査（基幹統計「患者統計」を作成するための調査）

2 調査票情報の利用目的

厚生労働省の補助金を受けて行う「OLAP(多次元データベース)による医療統計の公表手法開発に関する研究」の一環として、傷病別総患者数の出生コホート集計と OLAP 化について分析する基礎資料を得る。なお、研究概要は別添 1 のとおり。

3 調査票情報の利用者の範囲

国立保健医療科学院上席主任研究官	岡本悦司
一橋大学大学院教授	井伊雅子
東京大学大学院特任研究員	関本美穂

4 利用する調査票情報の名称及び範囲

(1)名称 患者調査（病院入院（奇数）票・病院外来（奇数）票、一般診療所票（転写 CD-R 分）

(2)年次 昭和 59 年，昭和 62 年，平成 2 年，平成 5 年，平成 8 年，平成 11 年，
平成 14 年，平成 17 年，平成 20 年

(3)地域 全国

(4)属性的範囲 調査対象

5 利用する調査事項及び利用方法

<調査事項>

平成 20 年病院(奇数)票 性別，生年月(元号，年，月)，入院外来種別，入院・前回診療月日，前回診療日からの日数，主傷病(基本分類)，乗数

平成 17 年病院(奇数)票 性別，生年月(元号，年，月)，入院外来種別，入院・前回診療年，月，日，入院・診療日数，主傷病(基本分類)，乗数

平成 14 年病院(奇数)票 性別，生年月(元号，年，月)，入院外来種別，入院・前回診療元号，年，月，日，入院・診療日数，主傷病(基本分類)，乗数

平成 11 年病院(奇数)票 性別，生年月(元号，年，月)，入院外来種別，入院・前回診療元号，年，月，日，入院・診療日数，主傷病(基本分類)，乗数

平成 8 年病院(奇数)票 性別，生年月(元号，年，月)，入院外来種別，入院・前回診療年月日(元号，年，月，日)，入院・前回診療からの日数，主傷病(基本分類)，乗数 I

平成 5 年病院票 性別，生年月(元号，年，月)，入院外来種別，入院・前回診療年月日(元号，年，月，日)，前回診療からの日数・入院日数，主傷病(基本分類)，乗数 I

平成 2 年病院票 性別，生年月(元号，年，月)，入院外来種別，入院・前回診療年月日(元号，年，月，日)，前回診療からの日数・入院日数，主傷病(基本分類)，県別乗数

昭和 62 年患者票 性別, 生年月(元号, 年, 月), 入院外来種別, 入院・前回診療月日(年, 月, 日), 診療日数・入院日数, 主疾病(基本分類), 県別乗数

昭和 59 年患者票 性別, 生年月(元号, 年, 月), 入院外来種別, 前回診療月日(月, 日), 前回診療日からの日数, 主疾病(基本分類), 県別乗数

平成 20 年一般診療所票 性別, 生年月(元号, 年, 月), 入院外来種別, 入院・前回診療月日, 前回診療日からの日数, 主傷病(基本分類), 乗数

平成 17 年一般診療所票 性別, 生年月(元号, 年, 月), 入院外来種別, 入院・前回診療年, 月, 日, 入院・診療日数, 主傷病(基本分類), 乗数

平成 14 年一般診療所票 性別, 生年月(元号, 年, 月), 入院外来種別, 入院・前回診療元号, 年, 月, 日, 入院・診療日数, 主傷病(基本分類), 乗数

平成 11 年一般診療所票 性別, 生年月(元号, 年, 月), 入院外来種別, 入院・前回診療元号, 年, 月, 日, 入院・診療日数, 主傷病(基本分類), 乗数

平成 8 年一般診療所票 性別, 生年月(元号, 年, 月), 入院外来種別, 入院・前回診療年月日(元号, 年, 月, 日), 入院・前回診療からの日数, 主傷病(基本分類), 乗数 I

平成 5 年一般診療所票 性別, 生年月(元号, 年, 月), 入院外来種別, 入院・前回診療年月日(元号, 年, 月, 日), 前回診療からの日数・入院日数, 主傷病(基本分類), 乗数 I

平成 2 年一般診療所票 性別, 生年月(元号, 年, 月), 入院外来種別, 入院・前回診療年月日(元号, 年, 月, 日), 前回診療からの日数・入院日数, 主傷病(基本分類), 県別乗数

昭和 62 年一般診療所票 性別, 生年月(元号, 年, 月), 入院外来種別, 入院・前回診療月日(年, 月, 日), 診療日数・入院日数, 主疾病(基本分類), 県別乗数

昭和 59 年一般診療所票 性別, 生年月(元号, 年, 月), 入院外来種別, 前回診療月日(月, 日), 前回診療日からの日数, 主疾病(基本分類), 県別乗数

<利用方法>

上記 3 の利用者が, 下記 7 の利用場所において「利用する調査事項」欄記入の調査票情報(データレイアウトは別添 2)の内容を用いて疾患別の出生コホート集計を行いキューブ形式の集計表を作成する。集計様式は別添 2, 分析出力様式は別添 3 の通り。

6 利用期間

承諾日から平成 24 年 3 月 31 日までの間

7 利用場所, 環境, 保管場所及び管理方法

(1) 利用場所 国立保健医療科学院医療・福祉サービス研究部内情報評価室内

(2) 利用する環境, 保管場所及び管理方法

施錠可能な国立保健医療科学院医療・福祉サービス研究部内情報評価室内に限定して利用し、それ以外の持ち出しを禁止する。また、上記 3 に記載する者がシステム室内に立ち入る職員をチェックする。

なお、情報評価室内の LAN に接続しないサーバー（室内の机に固定されている。）において、SQLServer2008 により処理を行い、アンチウイルスソフト（ウイルスバスター2010）の導入、最新のセキュリティパッチの適用などのセキュリティホール対策、ID・パスワード認証対策、スクリーンロック等の不正操作対策が図られている。

調査票情報（転写 CD-R）は利用時以外は施錠可能なボックスに施錠の上保管し、保管管理責任者は医療・福祉サービス研究部上席主任研究官岡本悦司とする。

また、中間生成物は全て USB メモリーに格納しサーバー及びクライアントに内蔵される記憶装置には一切の情報の蓄積を行わない。これらの情報を利用しないときは、当該 USB メモリーをクライアントから外し、施錠可能なボックスに施錠の上保管する。保管管理責任者は医療・福祉サービス研究部上席主任研究官岡本悦司とする。

8 結果の公表方法及び公表時期

研究終了後、集計結果は厚生労働科学研究の報告書として平成 24 年 6 月末までに公表する。また厚生指の指標等の学術雑誌への寄稿を予定している(掲載日時は予測できないが遅くとも平成 24 年中を予定)。公表の際は、拡大乗数を使用した推計値での千人単位での表章とする。

9 転写書類の利用後の処置

調査票情報（転写 CD-R）並びに分析及び集計に用いた中間生成物についても、当該目的以外に利用しないこととし、利用終了後直ちに、転写 CD-R は裁断、USB メモリーからは消去する

10 著作権

この申出に基づく調査票情報を利用して作成した集計結果について、上記 3 の利用者は、著作権主張しない。

11 転写した調査票情報の仕様

ファイル形式	テキスト形式
文字コード	SJIS
不要項目の処理	ブランク

12 事務担当者

国立保健医療科学院医療・福祉サービス研究部 岡本悦司
〒351-0197 埼玉県和光市南 2-3-6 TEL&FAX 048-458-6208

別添 1(研究概要)

厚生労働科学研究費補助金(政策科学総合研究事業(統計情報総合研究))

OLAP(多次元データベース)による医療統計の公表手法開発に関する研究

【目的】 統計法に基づく調査票利用による患者調査等の出生コホート集計と OLAP 化

【背景】 患者調査は 1984 年より 3 年毎の調査となっているがこのため 5 歳階級別集計では同一集団を追跡できない状況になっている。

そこで研究班としては、統計法に基づく調査票利用を申請し、各個票の生年月より出生コホート別傷病別の受療率ならびに総患者数推計を行い、出生コホート別に健康状況がどう変化してきたか OLAP により提供できるようにする。

【方法】 患者調査ファイルには各人の性・生年月日があることより以下の出生コホートについて性別、傷病別の総患者数を推計し、各調査年の 10 月 1 日推計人口より受療率を算出する。

暦年ではなく年度としたのは推計人口ならびに患者調査が 10 月なので、それが年央となるように設定した(また世代効果をみる上では暦年より学年でみた方が妥当であり、幼少時の学校保健統計との相関もみれる、というメリットがある。別添 5 参考資料参照)。

1900 年 4 月～1905 年 3 月出生
1905 年 4 月～1910 年 3 月出生
1910 年 4 月～1915 年 3 月出生
1915 年 4 月～1920 年 3 月出生
1920 年 4 月～1925 年 3 月出生
1925 年 4 月～1930 年 3 月出生
1930 年 4 月～1935 年 3 月出生
1935 年 4 月～1940 年 3 月出生
1940 年 4 月～1945 年 3 月出生
1945 年 4 月～1950 年 3 月出生
1950 年 4 月～1955 年 3 月出生
1955 年 4 月～1960 年 3 月出生
1960 年 4 月～1965 年 3 月出生
1965 年 4 月～1970 年 3 月出生
1970 年 4 月～1975 年 3 月出生
1975 年 4 月～1980 年 3 月出生
1980 年 4 月～1985 年 3 月出生
1985 年 4 月～1990 年 3 月出生
1990 年 4 月～1995 年 3 月出生
1995 年 4 月～2000 年 3 月出生
2000 年 4 月～2005 年 3 月出生
2005 年 4 月～2010 年 3 月出生

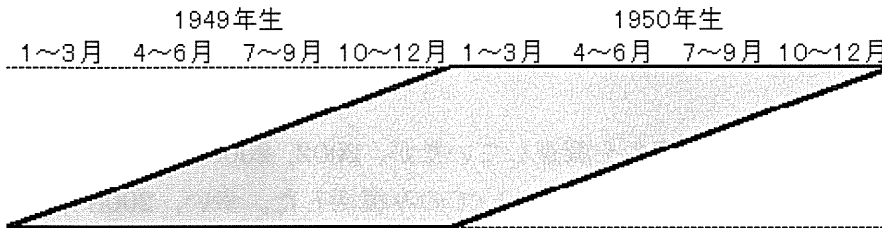
【申請予定調査】 患者調査の 1984, 87, 90, 93, 96, 99, 2002, 2005, 2008 各年の病院・一般診療所票とする(退院票は含めない)。

別添 2(集計表)

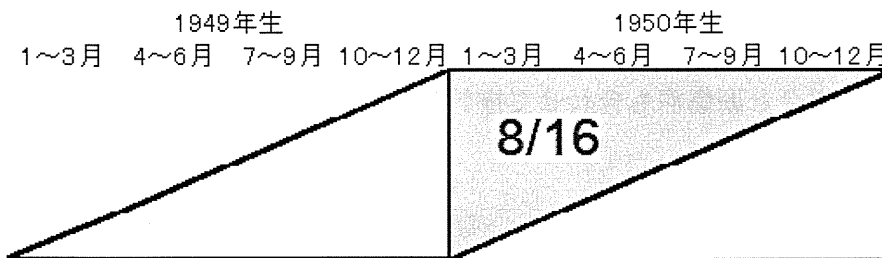
作成する集計表は以下の通り。

調査票集計が必要な理由の説明

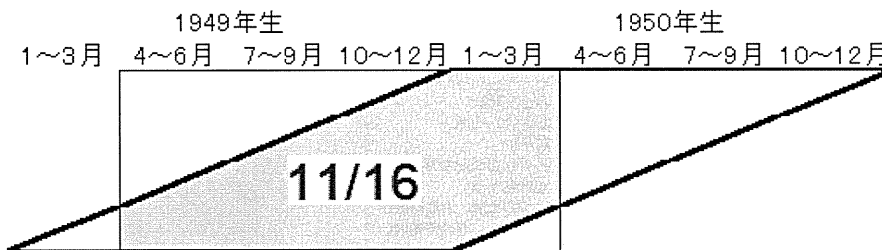
通常の医療統計での年齢階級とは死亡や入院等の発生時における年齢であり、出生コホート別ではない。それが出生コホートと一致しないことを人口動態統計を例に説明する。



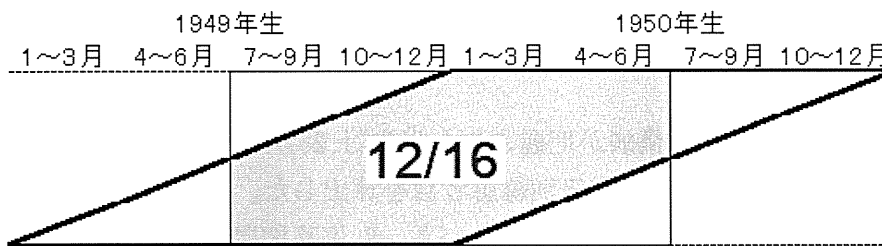
2010年中に60歳で死亡した者の中には1949年生まれと1950年生まれが半々でまざっている



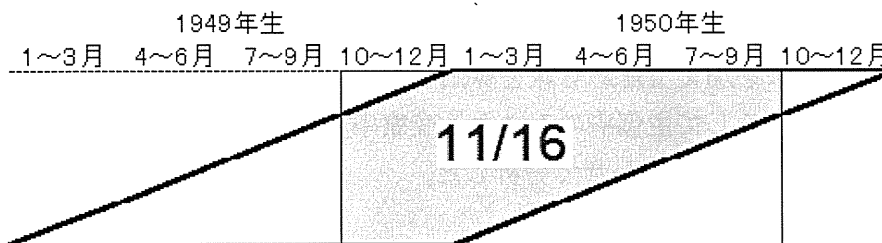
もし2010年中に60歳で死亡した者を1950年生まれと見なすと全体の半分(8/16)しかカバーされない。



もし学年(1949年4月~50年3月生)で区切れれば11/16がカバーされる。



もし年央(1949年7月~50年6月生)で区切れれば12/16がカバーされる。



2010年10月1日現在60歳の者は死亡者の11/16をカバーする

したがって出生コホート別集計のためには各歳別の死亡率をつなぎあわせただけでは正しくなく、個票の生年月を用いた再集計が必要である。

副傷病の有無の年齢階級別受療率への影響

今回の患者調査のコホート OLAP 化は主傷病のみを取り出して分析した。そのため頻度は多いが主傷病になりにくい傷病(高脂血症が好例)が過少評価されている危険を念頭におかなければならない。とりわけ高齢者は多数の傷病を有する患者が多く、そのような患者も主傷病は一つしか選ばれないので高齢者の傷病別受療率が過少評価されるおそれが強い。

患者調査における副傷病の扱い

1999 年までは副傷病も主傷病と同様に傷病名を調査していたが、2002, 2005 年調査では主傷病のみとされた。2008 年調査より下のような慢性疾患についてのみ復活した。幸い、2008 年調査より年齢階級別の主傷病、副傷病別の推計患者数(調査日に受診した患者数)が入院、外来別に公表されるようになったの(1999 年以前も副傷病は調査されていたが年齢階級別の集計はなかった)で、主傷病のみで総患者数を推計した場合と副傷病も合わせて推計した場合に年齢階級別受療率にどのように影響するか検討した。

(1) 主傷病名

	外傷の原因

(2) 副傷病名 (該当するものすべてに印をつけてください)

01	副傷病なし		
02	糖尿病(合併症を伴わない時)	10	高血圧(症)
03	糖尿病(性)腎症	11	虚血性心疾患
04	糖尿病(性)網膜症	12	脳卒中
05	糖尿病(性)神経障害	13	閉塞性末梢動脈疾患
06	糖尿病(性)足病変	14	大動脈疾患
07	02~06以外の合併症(糖尿病等)		(大動脈解離、大動脈瘤)
08	胆嚢(性)	15	慢性腎不全(慢性腎臓病)
09	高脂血症(脂質異常症)	16	精神疾患
		17	その他の疾患

総患者数の推計法

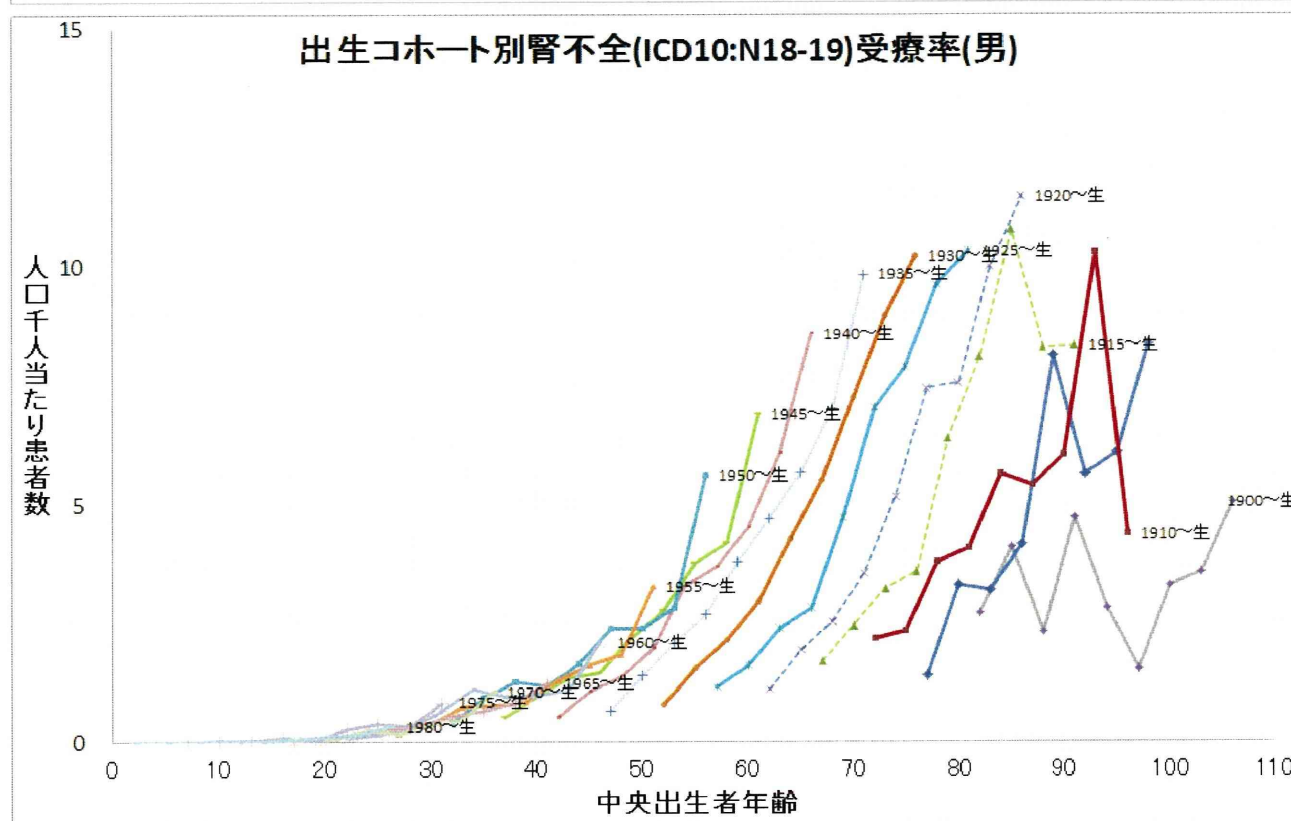
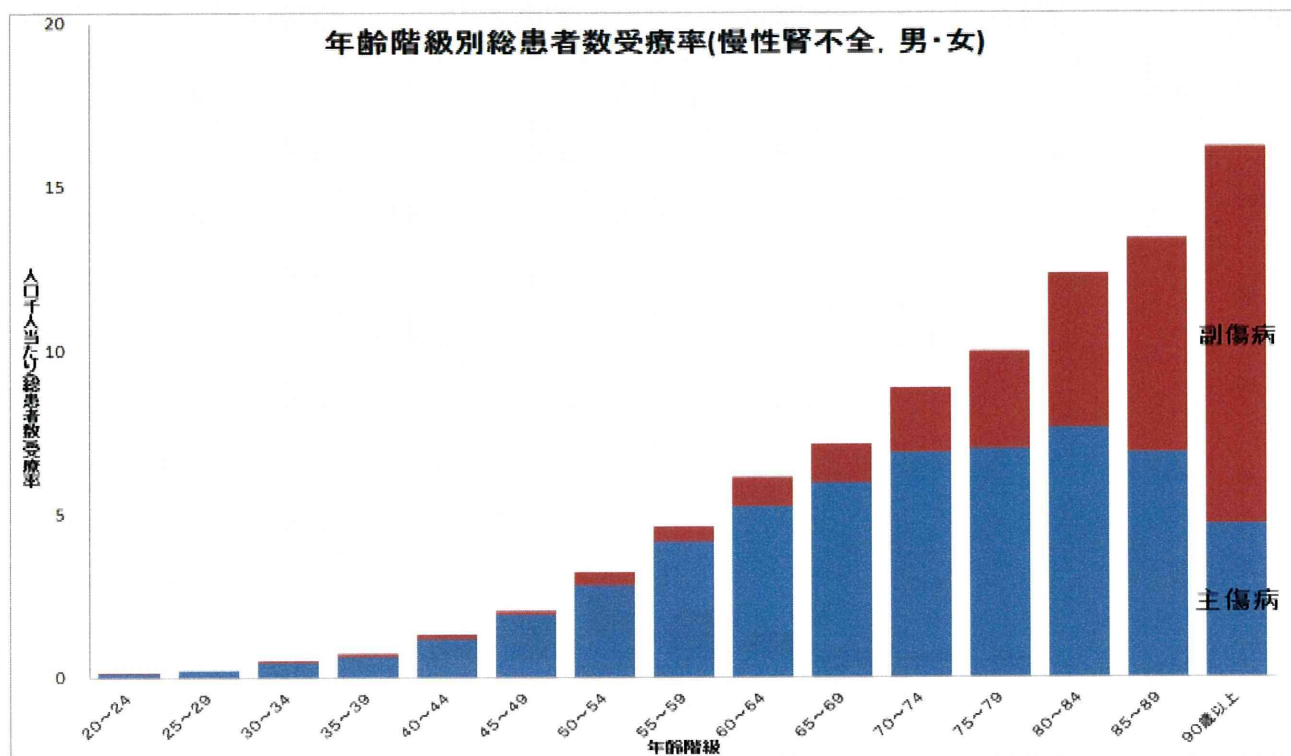
2008 年患者調査閲覧表 102~108 表より副傷病が把握された疾患(上表参照)について推計患者数(入院と外来)を得て、平均診療間隔をかけて年齢階級別総患者数を算出した。副傷病の表は、外来患者のうち初診、再診の区別はされていなかった。しかしながら、副傷病把握の対象疾患は外来患者のうち 90%以上が再来患者であることから全員を再来患者とみなして傷病別の平均診療間隔を乗じ(さらに 6/7 倍する)、入院患者数を加えて総患者数を算出した。算出された総患者数を年齢階級別人口で割って受療率を算出した。そして主傷病のみによる受療率とあわせてグラフ化して観察した。年齢による影響を評価するので男女は合わせて分析した。

副傷病の有無によって受療率が大きい左右される例・・・腎不全、虚血性心疾患、精神病

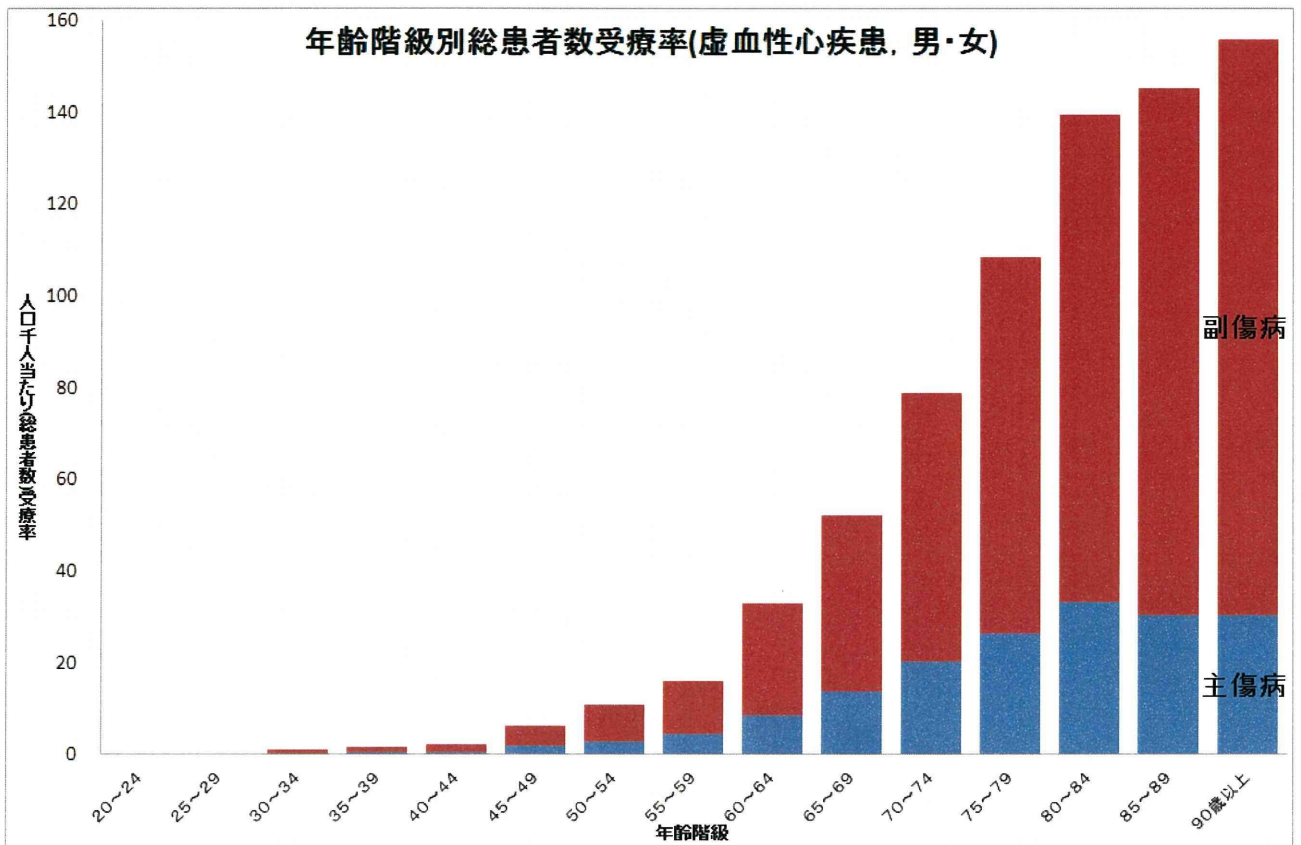
副傷病の有無によって年齢階級別受療率パターンが大きく影響される例として慢性腎不全があった。慢性腎不全受療率は加齢とともに一直線に増加しているが、高齢者になるほど主傷病として選択される数が少なくなり、主傷病だけで観察するとあたかも慢性腎不全は 80 歳以上では減少するか、のような印象を与えるが実際は逆であり、副傷病も加えると慢性腎不全受療率は加齢とともに

にコンスタントに上昇する，という傾向が主傷病のみのグラフではよみとれなくなる。

コホート OLAP のグラフでは 1900 年代生の高齢世代で 80 歳以降腎不全受療率が頭打ちになっているかのように見えるが，実際は腎不全の受療率は高まっているのに副傷病に隠れている可能性が考えられる。



同様に虚血性心疾患でも、主傷病のみでは80歳以降は下降気味になるが副傷病も加味すると伸びはやや低下するものの、加齢とともに一貫して受療率は上昇している。



精神病は高齢層で受療率は急増するが主傷病だけで観察すると受療率は加齢でほとんど影響されないかのように見える。高齢者では認知症等の発症が増えるが、同時に高血圧等の身体疾患も増加し主傷病としてはなかなか出てこないことが理由と考えられる。

健康日本 21 期間中における部位別がん死亡率の状況

岡本悦司(国立保健医療科学院医療・福祉サービス研究部)

【目的】21世紀における国民健康づくり運動(健康日本 21)は2000年度から開始され2010年度を目標として80指標が掲げられ、その達成状況の最終評価もこのほど下された。うち、がんについては、たばこ、食塩・野菜・果物摂取量、脂肪エネルギー、飲酒そしてがん検診受診率の7指標が含まれたが達成されたものは皆無であり、果物摂取のように悪化したものさえあった。がん対策の究極の指標は死亡率の改善(生存率の状況)であるが、死亡率は予防だけでなく医療技術の効果も含むためか評価指標には含まれていない。しかしながら、がん対策の究極の評価指標として健康日本 21 実施期間中の部位別がんの死亡率の改善状況を評価することは重要であり、コホート生命表により期間中の各種がん死亡率の改善を評価した。

【方法】ベースラインである1999年人口動態統計より各歳別、死因別死亡数を得て死因別センサス生命表を作成し、1920年～1970年出生コホート(男女別)ごとの以後12年間に部位別のがんで死なない期待確率(そのがんで死なない生存確率)を算出した。次に2000年～2010年の人口動態統計データを加え、12年間の「実際の」そのがんで死なない生存確率を算出し比較した。実測確率/期待確率の比を算出し、 >1 なら期間中にごがん死亡率は改善、 <1 なら悪化した、と評価した。

【結果】乳がんは1967年生で0.02%改善しただけで、1957年以前出生の全てのコホートで実測/期待比は1を下回った。子宮がんでは高齢女性でわずかに改善をみたが1945年以降の戦後生まれで1を下回った。胃がんは男女ともに改善したが、最も著しかったのは1923年生男性で、12年間で胃がんにならずに生存する確率が1%上昇した。肝がんでは男性において、改善した世代と悪化した世代に分極化しており、1940年生前後では改善をみたが、いわゆる昭和ヒトケタ(1926～34年生)世代では悪化した。肺がんは昭和二桁世代(1935～44年生)で改善した反面、戦後団塊世代(1946～49年生)では悪化した。

【考察】センサス生命表ではその時点の死亡状況が今後も不変という仮定下に平均余命が算出される。実際には公衆衛生活動や医療の進歩等により死亡率は改善するのが通常である。そうした「常識」に反して、健康日本 21 が推進された12年間では、多くのがんで死亡率がわずかとはいえ悪化した、という結果は重大といえる。部位別には胃がんは特に男性で順調な改善をみたが、乳房、子宮といった女性がんでは悪化した。この結果は、乳がん検診の普及や治療技術も向上に鑑みると意外かつ深刻といえる。男性の肝がんでは、悪化した世代と改善した世代がくっきりと分かれたが、原因であるBC型肝炎ウイルスキャリアの有病率が特定世代に集中している可能性が示唆される。

各がんて死亡せずに12年間(1999～2010年)生存する率(観察値/予測値)

出生年	男					女						
	胃	肝	肺	大腸	胆・膵	胃	肝	肺	大腸	胆膵	子宮	乳房
1970	1.0001	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0001	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
1969	1.0001	1.0001	1.0000	1.0000	1.0000	1.0002	1.0000	1.0001	1.0000	1.0000	0.9999	1.0001
1968	1.0002	1.0001	1.0001	1.0000	1.0000	1.0002	1.0000	1.0001	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
1967	1.0002	1.0001	1.0001	1.0001	1.0001	1.0003	1.0000	1.0001	1.0000	1.0000	1.0000	1.0002
1966	1.0002	1.0001	1.0000	1.0000	1.0000	1.0002	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	0.9999	1.0000
1965	1.0003	1.0002	1.0001	1.0001	1.0000	1.0003	1.0000	1.0001	1.0000	1.0000	0.9999	1.0001
1964	1.0004	1.0002	1.0001	1.0001	1.0000	1.0003	1.0000	1.0001	1.0000	1.0000	0.9999	1.0000
1963	1.0004	1.0003	1.0002	1.0001	1.0000	1.0003	1.0000	1.0001	1.0000	1.0000	0.9999	1.0000
1962	1.0004	1.0004	1.0002	1.0002	1.0000	1.0004	1.0000	1.0001	1.0001	1.0001	0.9999	1.0001
1961	1.0006	1.0005	1.0001	1.0001	1.0001	1.0004	1.0001	1.0001	1.0001	1.0001	0.9999	1.0001
1960	1.0006	1.0005	1.0002	1.0002	1.0001	1.0004	1.0000	1.0002	1.0000	1.0000	0.9999	1.0000
1959	1.0007	1.0006	1.0001	1.0002	1.0001	1.0004	1.0001	1.0002	1.0001	1.0001	0.9999	1.0000
1958	1.0007	1.0007	1.0001	1.0002	1.0001	1.0005	1.0001	1.0002	1.0001	1.0001	0.9999	1.0000
1957	1.0008	1.0007	1.0000	1.0003	1.0001	1.0005	1.0001	1.0001	1.0001	1.0001	0.9999	0.9999
1956	1.0008	1.0009	1.0000	1.0003	1.0002	1.0004	1.0001	1.0001	1.0001	1.0001	0.9999	0.9998
1955	1.0008	1.0009	1.0002	1.0004	1.0003	1.0004	1.0002	1.0003	1.0000	1.0000	0.9999	0.9998
1954	1.0010	1.0010	1.0001	1.0003	1.0003	1.0004	1.0001	1.0002	1.0001	1.0001	0.9999	0.9997
1953	1.0010	1.0011	1.0001	1.0003	1.0001	1.0005	1.0002	1.0002	1.0001	1.0001	0.9999	0.9997
1952	1.0010	1.0011	1.0000	1.0003	1.0003	1.0004	1.0002	1.0002	1.0001	1.0001	0.9998	0.9996
1951	1.0010	1.0011	0.9998	1.0002	1.0001	1.0004	1.0003	1.0002	1.0000	1.0000	0.9998	0.9995
1950	1.0009	1.0011	0.9996	1.0002	0.9999	1.0003	1.0003	1.0001	1.0001	1.0001	0.9998	0.9994
1949	1.0011	1.0014	0.9997	1.0005	1.0001	1.0004	1.0004	1.0000	1.0001	1.0001	0.9998	0.9994
1948	1.0013	1.0015	0.9995	1.0004	0.9999	1.0004	1.0005	0.9999	1.0001	1.0001	0.9998	0.9994
1947	1.0020	1.0023	1.0000	1.0008	1.0003	1.0008	1.0006	1.0000	1.0003	1.0003	1.0000	0.9998
1946	1.0020	1.0026	0.9992	1.0006	0.9999	1.0007	1.0008	1.0000	1.0002	1.0002	1.0000	0.9995
1945	1.0018	1.0028	0.9983	1.0004	0.9993	1.0006	1.0008	0.9998	1.0001	1.0001	0.9999	0.9993
1944	1.0023	1.0037	0.9993	1.0005	0.9999	1.0009	1.0010	1.0000	1.0003	1.0003	0.9999	0.9996
1943	1.0027	1.0049	0.9998	1.0009	1.0001	1.0011	1.0013	1.0001	1.0004	1.0004	1.0001	0.9994
1942	1.0028	1.0055	1.0003	1.0008	1.0001	1.0010	1.0013	1.0001	1.0004	1.0004	1.0001	0.9995
1941	1.0036	1.0082	1.0017	1.0013	1.0002	1.0012	1.0016	1.0002	1.0004	1.0004	1.0001	0.9996
1940	1.0044	1.0069	1.0026	1.0015	1.0005	1.0013	1.0016	1.0003	1.0006	1.0006	1.0002	0.9996
1939	1.0043	1.0067	1.0035	1.0010	1.0003	1.0009	1.0016	1.0003	1.0006	1.0006	1.0002	0.9996
1938	1.0036	1.0061	1.0038	1.0008	1.0001	1.0009	1.0016	1.0002	1.0004	1.0004	1.0002	0.9994
1937	1.0044	1.0058	1.0055	1.0011	1.0005	1.0012	1.0015	1.0004	1.0005	1.0005	1.0002	0.9996
1936	1.0045	1.0041	1.0056	1.0011	1.0008	1.0013	1.0013	1.0004	1.0007	1.0007	1.0003	0.9996
1935	1.0048	1.0024	1.0063	1.0013	1.0008	1.0016	1.0011	1.0003	1.0005	1.0005	1.0003	0.9996
1934	1.0045	1.0008	1.0057	1.0008	1.0007	1.0017	1.0006	1.0003	1.0004	1.0004	1.0004	0.9996
1933	1.0043	0.9990	1.0043	1.0005	1.0008	1.0018	1.0004	1.0003	1.0004	1.0004	1.0004	0.9996
1932	1.0049	0.9986	1.0051	1.0012	1.0012	1.0020	1.0002	1.0004	1.0008	1.0008	1.0003	0.9997
1931	1.0049	0.9981	1.0034	1.0009	1.0011	1.0020	0.9999	1.0006	1.0009	1.0009	1.0004	0.9997
1930	1.0057	0.9983	1.0026	1.0006	1.0015	1.0025	0.9997	1.0006	1.0011	1.0011	1.0003	0.9996
1929	1.0046	0.9974	1.0012	1.0001	1.0009	1.0025	0.9999	1.0007	1.0010	1.0010	1.0004	0.9993
1928	1.0062	0.9985	1.0014	1.0007	1.0014	1.0031	1.0002	1.0010	1.0014	1.0014	1.0005	0.9994
1927	1.0063	0.9984	1.0012	1.0008	1.0011	1.0033	0.9999	1.0010	1.0011	1.0011	1.0006	0.9993
1926	1.0075	0.9987	1.0006	1.0008	1.0018	1.0039	1.0000	1.0014	1.0016	1.0016	1.0006	0.9995
1925	1.0083	0.9987	1.0008	1.0014	1.0016	1.0044	0.9999	1.0016	1.0017	1.0017	1.0006	0.9993
1924	1.0084	0.9988	1.0004	1.0017	1.0020	1.0038	0.9995	1.0006	1.0007	1.0007	1.0005	0.9994
1923	1.0101	0.9993	1.0000	1.0015	1.0014	1.0044	0.9995	1.0008	1.0009	1.0009	1.0009	0.9990
1922	1.0092	0.9986	0.9988	1.0018	1.0013	1.0047	0.9993	1.0001	1.0003	1.0003	1.0011	0.9993
1921	1.0089	0.9986	0.9971	1.0017	0.9993	1.0041	0.9993	0.9991	0.9999	0.9999	1.0010	0.9993
1920	1.0068	0.9985	0.9966	1.0015	0.9991	1.0029	0.9997	0.9988	0.9996	0.9996	1.0010	0.9992

